

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 3月 7日(木) 発行人：校長 森内 秀学

「たい」を叶える卒業式に

いよいよ始まりました、卒業式の全体練習。本番まで、あと7日です。



開始早々、教務主任の遠藤先生が、子どもたちに「どんな卒業式にしたいですか。」と、たずねました。すると、様々につぶやいたあと、指名された子どもたちがこう答えました。

「感謝を伝えられる卒業式にしたいです。」

「5年生に、来年はがんばって欲しいという思いを伝えられる卒業式にしたいです。」

「小学校生活最後なので、中学校へのきっかけづくりになる卒業式にしたいです。」

「これくらい成長したということを見せられる卒業式にしたいです。」

うなずきながら聞いていた遠藤先生は、少し間をおいて、こう言いました。

「全部、叶えましょう！みなさんの姿で！」

卒業式は、全員の子どもの思いを言葉にして発する場面があるわけではありません。でも、その思いは、凛とした姿やきびきびした動き、精一杯の歌声で、きっと伝わるはずです。ご臨席いただく保護者の皆様、地域の皆様、本番をどうぞお楽しみに。



感謝！校内美化作業～PTA 環境保健部～

3月3日(日)は、PTA 環境保健部主催による校内美化作業でした。子どもたちも保護者の方もたくさん集まってくださいました。トイレや扇風機、窓ガラスなど、日頃行き届かないところをとってきれいにさせていただきましたので、気持ちよく、卒業、修了の日を迎えられそうです。



募金を日本赤十字にお預けしました！

3月6日(水)は、日本赤十字の代表の方が、JRC 委員会が集めた募金を取りに来てくださいました。子どもの発案で集めたお金です。役に立てていただきたいと思いますね。